

# 学校だより

7月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和三年 七月一日



季節を感じながら学ぶ

校長 吉野 達雄

時々ツイッターにもあげていますが、私は雲がある風景が好きです。青い空に浮かぶ入道雲、ひつじ雲、わた雲、夕焼空に色づく雲、それぞれに味わいがあり、素敵な風景です。学校では様々な体験学習を通して、子供たちに自然の美しさに感動する心を醸成していきます。コロナ禍でなかなか実施できないこともありますが、ICTを活用しての体験を取り入れるなど工夫しながら学習を進めているところですが、先々週、梅雨入りしてから、休み時間やプールが中止になり子供たちが嘆いている声をよく聞きます。中には雨なんて嫌いという声も。しかし、私たちが生きるための自然の恵みである雨、少し視点を変えてみましょう。雨の中の紫陽花の美しさ、雨を喜んでくれるカエルやかたつむり、お気に入りの傘をさす喜び、何よりも私たちの生活の渇きを潤してくれる雨。雨が好きになってきませんか。いろいろな角度からものをとらえると、違う世界が見えてきます。

## 【ピロティの壁にツバメの巣が】

ツバメは、環境がよく人通りの多いところに巣を作ります。ツバメの巣があるところは、居心地がよく、縁起がよいと言われています。毎年のようにツバメが巣をつくる白金小学校は、居心地のよい学校ですね。毎朝、子供たちと先生方が、巣立ちの日まで無事に育ってほしいという気持ちで巣を見上げています。

## 【都会の中にある自然教育園】

自然教育園は東京ドーム四個分を超える広さの自然豊かな所です。先週、四年生が校外学習に行き、春から初夏の変化を知るとともに、この時期に見られる植物や生き物を観察してきました。今後はタブレットに記録した写真をもとに一年間の変化も調べていきます。子供たちの学習がどのように積み重なっていくのかとても楽しみです。

さて、そこで嬉しいことがあります。その日は、他の小学校も来園していたのですが、その学校の先生方に、白金小学校の子供たちの態度やマナーが素晴らしいと褒められました。学校でも落ち着いて生活し、学習も前向きに取り組んでいます。白金小学校の校長として、とても嬉しく、誇らしい気持ちになりました。

高松アカデミー

久保田 謙

港区では、カリキュラムマネジメントを通じた幼・小・中一貫教育を推進しています。

高松アカデミーは、近隣の高輪幼稚園・白金台幼稚園・高輪台小学校・白金小学校・高松中学校の二園三校で構成されています。幼・小・中の「豊かな学び」の充実を目指して連携を強化し、「地域に信頼され、子ども・保護者と共にある幼稚園・小・中学校」豊かに学び、豊かに生きる子供を育成します。テーマに十二年間を見通した実践を行っています。コロナ感染症の影響で交流は制限されていますが、今年度は、高松中学校への授業・部活動体験（六年）が実施される予定です。

先日、本年度の第一回目の研究授業が高輪台小学校で行われました。緊急事態宣言中であつたため、各校からはリモートでの参観となりましたが、

- ◆ 一年生 道徳 『金のおの』（正直、誠実）
- ◆ 三年生 体育 『跳び箱運動』
- ◆ 六年生 国語 『たのしみは』

の授業を参観し、主体的で深い学びを実現していく中で、思考力・判断力・表現力を高めていく為に、どのような工夫ができるのかを考え、教職員同士の連携を図るよい機会となりました。

幼稚園で培われてきた力を小学校でどのように生かし、どのように中学校につないでいけば、積み上げることができるのか、引き続き研究を深めていきます。



白金小学校  
Twitter



学校HPからも  
入れます。